

# 校内研修計画書

1 学 校 名 嬭恋村立西部小学校

2 校 長 氏 名 山本 徳幸

3 研修主任氏名 角田喜久雄

## 4 令和元年度の研修について

(1) 主題 「主体的に学ぼうとする児童の育成」  
～「できた、分かった」と感じる授業づくりを通して～

### (2) 成果と課題

前年度に特別支援教育エリアサポート事業のモデル校の指定を受けた成果を、日常の授業に取り入れるとともに、「学びの約束」などの学習習慣の定着を図った。それにより、落ち着いた雰囲気の中で、学習が苦手な児童も安心して授業に参加できるようになってきた。しかし、学習する上での基盤となる「読解力」や、学習意欲にも関わる「自ら気付く」といった面では課題があった。これからも、若手教員とベテラン教員が協力し合う体制の中で、継続的に授業づくりを推進していく必要がある。

## 5 令和2年度の研修計画

(1) 分野 学習指導

(2) 主題 「主体的に学ぼうとする児童の育成」  
～「できた、分かった」と感じる授業づくりを通して～

### (3) 主題設定の理由

昨年度、本校はモデル指定校の研修成果を日々の教育活動に生かし、定着させていくことをねらい研修を進めた。具体的には、「できた、分かった」と感じる手立てや「ユニバーサルデザインの視点」に基づいた支援について共通理解を図り、日常の授業実践に生かしてきた。それにより児童が興味・関心を持ち、見通しを持って学習に取り組むことや、学習内容を振り返り、次への学習へつなげようとする態度を育成してきた。

そこで、今年度は、モデル指定を受けて3年目のまとめの年度と位置付け、これまでの研修成果を日々の教育活動に生かし、さらに定着させていくことをねらい研修を進めていく。具体的には日常的に指導力を研鑽していく体制の中で、若手とベテラン、それぞれが研修主題に則り「読解力」や「自ら気付く」など課題を持ちながら日々の実践を行っていく。その際に、学校全体で授業中の生徒指導や教育観について共通理解を図りながら、実践的な研修となるようにする。

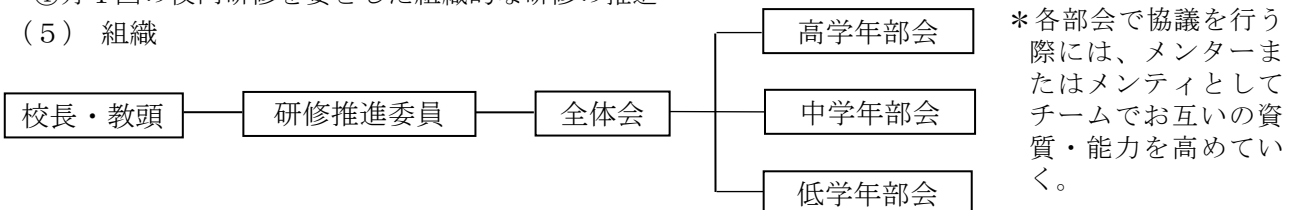
また、学習習慣は一朝一夕に定着することはないので、「学びの約束」の重点項目を設定し、その定期的な振り返りにより重点項目を変えたり、児童の実態に合わせて内容の修正を行ったりしていきたい。

以上のことを踏まえ、今年度は昨年度の研修主題を踏襲し、さらに日常の実践の中で定着・深化させていくことを目指すこととした。

### (4) 研修内容及び方法

- ①ユニバーサルデザインの視点に基づいた支援の工夫による一人ひとりが活躍できる授業づくり
- ②発達段階に応じた「学びの約束」「聞き方名人」「話し方名人」の日々の授業での定着化
- ③①または②を実現するための「ミニ授業公開」の実施
- ④月1回の校内研修を要とした組織的な研修の推進

### (5) 組織



### (6) 年間計画

1 学期	・研究主題、研究内容及び方法、研究計画の決定 ・授業中の生徒指導や教育観についての共通理解 ・1学期のまとめ（成果と課題）	・授業実践とミニ授業公開の実施 ・アンケートの実施 ・2学期の方向性確認
2 学期	・授業実践とミニ授業公開の実施 ・計画訪問（授業研究会） ・2学期のまとめ（成果と課題）	・計画訪問での授業公開に向けた学習指導案検討 ・3学期の方向性確認 ・研究紀要作成
3 学期	・研究紀要作成	・1年間のまとめ（成果と課題） ・次年度の研究計画案の作成

